

能代市部活動地域移行推進計画【概要版】（令和5年12月）

部活動は、子どもたちのスポーツ・文化芸術に親しむ機会を確保し、自主的・主体的な活動を通じた社会性の育成等、心身の健全育成のために大きな役割を担ってきましたが、急速な少子化に伴う学校の統廃合や教員数の減少等により、現在の形での部活動では、子どもたちのニーズに応えることができない状況が生じています。そのため、国では、学校部活動で支えきれなくなっている地域のスポーツ・文化芸術活動について、学校単位から地域単位での活動に移行するため、令和4年12月に、「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を策定し、令和5年度からの3年間で改革推進期間と位置づけ、できる限り早期の実現を目指しています。

本市では、令和5年度から国の委託事業を活用した地域スポーツクラブ活動体制整備事業に着手し、将来にわたり子どもたちが継続してスポーツ・文化芸術活動に親しむことができる環境づくりを目指し、段階的に地域移行を推進していくため、推進計画を策定しました。

1. 能代市の部活動を取り巻く現状

(1) 生徒数について

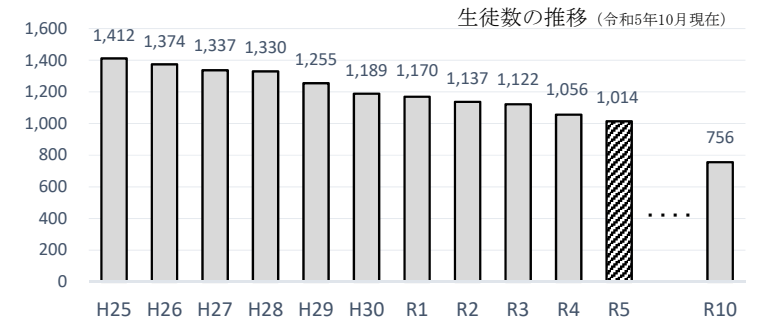
- ・生徒数は、平成25年度～令和5年度にかけて約400人減少。

(2) 合同チーム等について

- ・単独校でのチーム編成が困難な部が増加。（令和5年10月現在→10部活動）
- ・吹奏楽部部員の減少が顕著であり、小編成の活動が多くなっている。

(3) 教職員の勤務状況等について

- ・中学校では、月あたり時間外在校等時間が45時間を超えている教員が相当数いる。
- ・指導経験がない種目を指導するケースが多く、教員の大きな負担となっている。



2. 基本的な考え方

(1) 策定趣旨

- ・子どもたちが、身近でスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる環境づくりを目指します。

(2) 実施期間・取組

- ・学校や地域の実情に応じて「令和8年度」を目途に地域移行を目指します。
- ・将来を見据え、休日と平日の隔たりのない体制の構築を進めます。

(3) 目指す姿（目的）

- ・地域全体でスポーツ・芸術文化活動に親しめる社会の実現を目指し、地域の環境整備や機運の醸成を図ります。
- ①部活動体制の維持・変革 ②生徒のスポーツ・文化芸術活動機会の確保 ③教職員の負担軽減



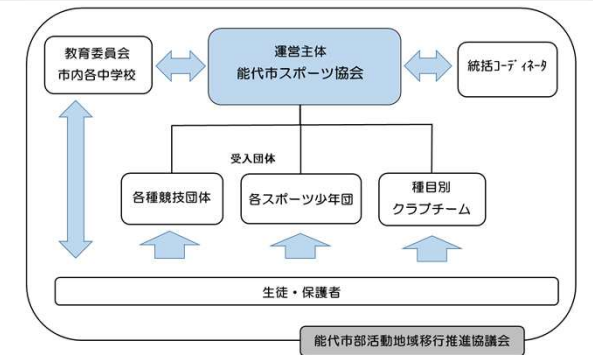
3. 地域移行の全体像

(1) 体制整備

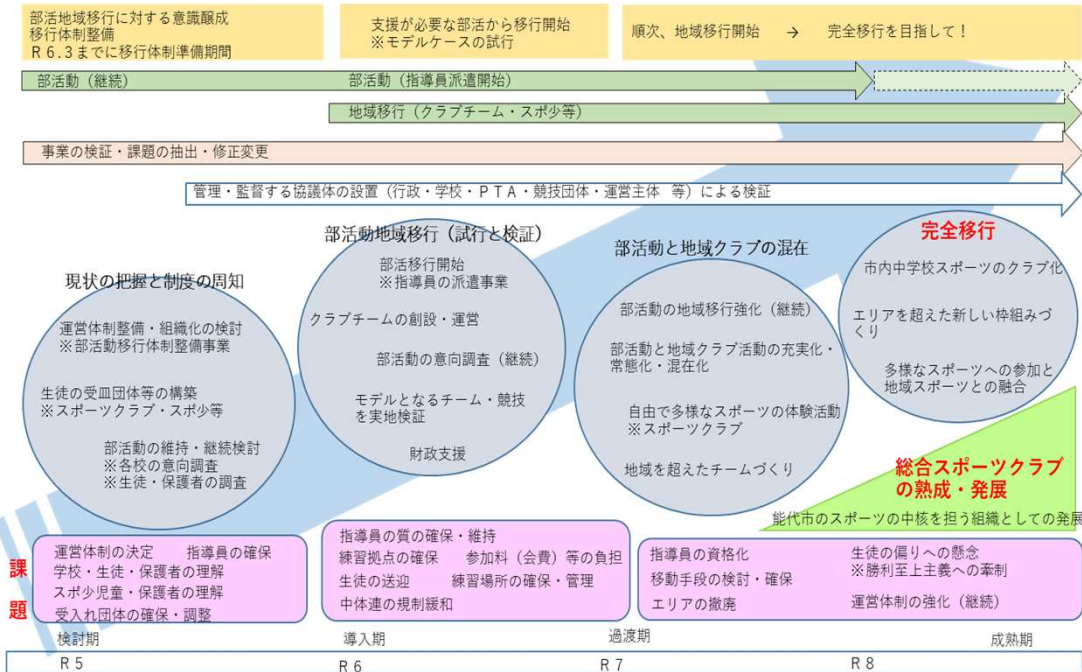
- ・新たな環境整備に当たり、多くの関係者が連携し、段階的・計画的に取り組む必要があります。
- ・クラブ活動を統括する運営主体は、地域移行に関する登録クラブと指導者の管理、クラブの練習場所の確保・斡旋、学校や行政との調整等、本事業の中核を担います。
- ・関係者で構成する協議会を立ち上げ、運営状況や課題への対応、事業の進捗状況等を協議します。

(2) 取組イメージ

- ・行政、学校、クラブチーム、競技団体等の関係団体との連携が重要です。
- ・まずは取り組みを進められるところから支援し、将来的には完全移行を目指します。
- ・合意形成や条件整備等については、子どもたちのことを第一に考えることを基本とします。



(取組のイメージ)



5. 課題と対応

(1) 実施主体・運営主体

- ・運営する組織は、継続性を考え、地域で認知され信頼のおける事業者、団体が望ましい。⇒「能代市スポーツ協会」へ委託

(2) 地域クラブの主な要件

- ・学校や各競技団体との連携が図られていること
- ・指導体制が構築されていること
- ・クラブ規約等により適切な運営を行っていること
- ・国や県、市が示すガイドラインを遵守すること 等

⇒運営主体や各クラブ内のトラブル等を回避し、子どもたちがのびのびと活動を楽しめる環境を維持

(3) 指導者

- ・登録名簿等を作成し、全ての指導者を管理
- ・管理者が定めた規則の遵守、研修や講習会の受講を条件
⇒指導者の資質・能力の確保
- ・指導者報酬を支給(支給方法、財源等は検討中)
- ・教員等の兼職兼業制度の活用

(4) 活動場所

- ・地域の学校、公共スポーツ施設、社会教育施設等を確保
⇒地域移行されたクラブの利用が優先される仕組みを検討

(5) 保護者負担

- ・クラブ活動費や保険料、大会等の参加料等、保護者負担が発生
⇒保護者の理解を得ながら設定することが重要
- ・指導者報酬は、持続可能な観点から会費負担も含めて検討

6. 大会等への参加について

日本中学校体育連盟(中体連)では、令和5年度から全国中学校体育大会への地域クラブの参加を全競技で認め、地域クラブでの参加が可能となっています。今後も条件等が緩和されていくと見込まれており、中体連と連携を図りながら、各クラブへの情報提供や支援に努めてまいります。

(地域移行すると・・・)

- 専門的な指導を受けることが可能
- 学校の枠を超えた集団での活動が可能
- 学校にはない多様な種目の活動が可能

- ▲クラブへの会費や指導者報酬などの支払いが必要
- ▲学校から離れた場所の場合は送迎が必要
- ▲指導者の量・質の確保が必要



様々な課題に向き合い、
生徒や保護者、学校、関係者の理解を
得ながら地域移行を進めてまいります。



下記QRコードからも
ご覧になれます。

